



発行所  
安芸郡芸西村  
芸西病院  
TEL 0887(33)3833

発行責任者  
岩村 久  
http://okura-kai.com/  
geisei/



# 年の初めに



芸西病院 院長 岩村 久



新しい年、令和五年、西暦

二〇二三年が始まりました。

新型コロナウイルス感染が世界に拡大して三度目の春を迎えます。芸西病院でも昨年四月病棟内でクラスターが発生しました。職員一丸となって治療にあたり、何とかこの危機を乗り越えることができました。現場スタッフには頭が下がるばかりです。

国内では秋口に患者数が減少してきたことから行動制限も緩和されました。年末に向けて再び増加に転じ第八波到来とも言われ、インフルエンザとの同時流行も懸念されています。年末年始に多くの

人々の移動を経て、状況はどうなるのでしょうか。

職員やその家族の感染で出勤できない職員もあり現場の人手不足に拍車がかかっています。この二年間は病院行事もすべて中止となりました。早く元の日常生活に戻ってく

ることを祈っています。

ロシアのウクライナ侵攻は年を越えても続いています。距離的にはとても遠くの国ですが、ロシアを挟んで隣国と考えると身近なことに思えます。学生時代の地理ではウクライナと言えば小麦でした。ウクライナから小麦が輸出できなくなり世界中で食料

危機が叫ばれています。ロシアへの経済制裁の影響で物価高の問題も起きました。

日本では戦争のない時代が七十七年続いています。よもやロシアが日本に侵攻してく

ることはないでしょうが、ウ

クライナでの戦いが世界に拡がり日本も巻き込まれてしま

う危険性はあります。それに

十分備えておくことも必要です。ただ地震などの自然災害と違い防ぐことはできるはず

です。その点では新型コロナウイルスも

ウイルスもウクライナ問題も一緒かもしれません。

さて、今年卯年です。前回の卯年は二〇一一年(平成二十三年)、東日本大震災の年でした。その前は九九九年(平成十一年)二〇世紀末。個人的には大腸の手術を受けました。さらに遡り一九八七年(昭和六十二年)、この年

返ると、卯年は私にとっては節目の年であるようです。

今年、芸西病院は創立四十五周年、リゾートヒルやわらぎは開設二十五周年を迎えます。

建物、設備の老朽化が目立ってきました。南海トラフ地震に備えながら新築に向け新たな幕開けの年になりそうです。今後とも何卒よろしくお



病院外観

雪化粧 (R4.12.23)



精神デイケア制作  
穏やかで幸せな一年になりますように

## 外来診察担当医

令和4年7月1日

| 内科      | 月       |    | 火    |           | 水  |    | 木       |         | 金       |         | 土        |    |
|---------|---------|----|------|-----------|----|----|---------|---------|---------|---------|----------|----|
|         | 午前      | 午後 | 午前   | 午後        | 午前 | 午後 | 午前      | 午後      | 午前      | 午後      | 午前       | 午後 |
| 山崎 (第1) | 岩崎 (第3) | 山崎 | 八木   | 清藤 (第1・3) | 山崎 | 八木 | 大西 (第1) | 山崎      | 山崎      | 山崎      | 麻生       | 休診 |
|         |         |    |      |           |    |    |         |         |         |         |          |    |
| 大崎      | 岩村      | 岩村 | 藤戸良輔 | 大崎        | 廣瀬 | 内野 | 廣瀬 (第1) | 内野 (第2) | 廣瀬 (第3) | 高橋 (第4) | 交代制 (第5) | 休診 |

芸西病院



# みずき芸術祭を開催しました

精神科作業療法室  
作業療法士  
宇田 知代

令和4年11月9〜10日、昨年引き続きみずき芸術祭が開催されました。

長らくコロナ禍で、様々なイベントの中止や制限がある中で、思うように行動が出来ない日々がまだまだ続いています。6月中旬、昨年に有志で結成された実行委員会メンバーが再び集まり、和気あいあいとした雰囲気の中で、準備を進めることが出来ました。

作品募集の開始に伴って、いろんな部署や個人の方々から出展をいただきました。感染対策のために消毒をしたり人との距離を空けたりと制作過程で工夫をされながらも、たくさん作品が展示されたことに感謝を申し上げます。お一人でコツコツと作られた方もいれば、グループで得意な作業を持ち寄って一つの作品

に仕上げたものもありました。また、職員さんの素晴らしい手仕事も見応えがありました。

作品制作の場面では、対象者の方々がどんな思いを持って作品に向き合っているのかを感じ取ることが出来ます。意欲的に参加できる方もいれば、気持ちが揺れながらもちょっとだけ頑張って参加してくださる方もいらっしやいます。そんな中で出来る作品に対する愛着や達成感はとても大きいものと常々感じております。そんな大切な作品が今年には100を超えて集まりました。来場時には、自身の作品を誇らしげに見られる方や、初めて見る作品に「すごいね」「上手やね」と声を掛けられる方など表現の仕方は様々ですが、その場のあたたかな雰囲気は対象者の方々にとって良い時間だったのではないのでしょうか。

作品を作って、仕上がりまで終わりではなく、他者に観ていただく事や言葉をいただく事が、対象者の方々にとっても励みになると思います。そんな表現・表出の場を今年も提供することが出来た事がとても嬉しく感じられました。





### 院長賞

沢山の利用者の方が、丁寧に、配色良く美しく塗ってくださいました。裏にはひまわりのちぎり絵も作りました



「やわらぎ美術館」  
やわらぎデイケア

### 理事長賞

ときには気球に乗って大空を、風に乗って野原を越えて雲を飛び越えどこまでも自由に行きたい。そんな思いを作品にこめまし



「気球に乗ってどこまでも」  
3B病棟OT

### 施設長賞

みんなちがって、みんないい。皆の夢、希望。力をこの作品に込めました。沢山の力が集まりました



「ワンダーランド」  
精神 OT クラフトチーム

### 副院長賞

薬シート、トイレットペーパーの芯、緩衝材など病院で出たゴミを素材にしました。廃材で捨てる物でも虹や広い空の上を羽ばたいていく。そんな希望に満ちた作品を皆でコツコツと仕上げました



「希望の虹」 精神デイケア  
A病棟

### 看護部長賞

これから1日が始まるんだー!!というイメージで描きました



「日の出」  
精神 OT 室 酒井忠彦

### ギャラリー賞

「巻く」「貼る」「切る」：利用者さん個々が得意とする作業を活かしたデイケアおなじみの分業制で4月からコツコツ取り組んできました。手慣れた作業は利用者さんも緊張せずに取り組めることから自然と会話が増え、作品の仕上がりと共に利用者さん同士の交流も深まる、そんな副産物も得られました。



「日本一の富士へII 甲州三坂水面」  
精神デイケア





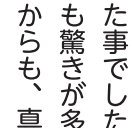
# リハビリ部門 優秀スタッフ賞発表!

## リハビリテーション部



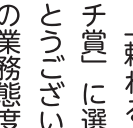
精神OT室  
作業療法士  
田野岡 宏樹

今回、恐れ多いですが「最優秀スタッフ賞」「真面目にひたむきに頑張ったで賞」を頂きました。自分なんか選ばれた事では思ってもみなかった事でも驚きが多かったです。これからも、真面目にひたむきに頑張ります。



やわらぎ機能訓練室  
理学療法士  
近藤 宏哉

「頼れる存在愛嬌ピカ☆イチ賞」に選んで頂き、ありがとうございます。皆様にご褒めの業務態度を評価してもらったことを大変嬉しく思います。今後もこの賞に恥じないように、日々の業務に当たっていききたいと思います。



訪問リハビリテーション室  
理学療法士  
佐藤 裕佳

この度、「美しい立ち振る舞いでコツコツと頑張ったで賞」を頂きました。日々の業務に対する姿勢を評価して頂いたことを大変嬉しく思います。今後も驕ることなく、目の前の利用者さんとの関わりを大切にコツコツと頑張っていきたいと思います。



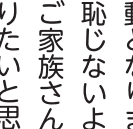
やわらぎ機能訓練室  
作業療法士  
安岡 稔恵

「患者さんや保護者に丁寧に寄り添ったで賞」に選んで頂き、ありがとうございます。10月にリハビリテーション棟からやわらぎ機能訓練室に異動となりましたが、この賞に恥じないように利用者さんやご家族さんに寄り添い、頑張りたいと思います。



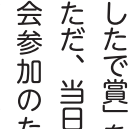
言語療法室  
言語療法士  
堀川 悠莉杏

この度、「目くばり・気くばり・心くばり賞」という素敵な賞に表彰して頂き、ありがとうございます。このような賞を頂けると思っていたので大変驚きましたが、今後も患者さんやスタッフの皆さんなど、周囲の人たちに対して気配りの心を忘れずに対応していきたいと思えます。本当にありがとうございます。



理学療法室  
理学療法士  
近藤 友香

今回、「幅広い業務をこなしたで賞」をいただきました。ただ、当日は小児理学療学会参加のため直接受賞できず、実感があまりないことが残念です。しかし、この受賞



言語療法室  
言語療法士  
堀川 悠莉杏

は日頃からの同僚の支えと良い環境で働かせていただけているおかげだと感謝しています。これからも、利他の心で努めていきます。



# 教科書を執筆しました

リハビリテーション部 部長 加賀野井 聖一



がこの教科書を執筆させていたくださっかけは、神奈川県立大学の仙波浩幸教授よりお声がけをいただき「このような機会はおそらくないだ

去る10月6日、株式会社羊土社より「精神医学(P.T.・O.T)ビジュアルテキスト専門基礎」先崎 章(監修)、仙波浩幸(編集)、香山明美(編集)が出版されました。私も「第9章ライフサイクルにおける精神医学」の章を執筆させていただきました。この教科書は理学療法士(P.T)・作業療法士(O.T)の目線から重要な知識を凝縮しており、多彩で複雑な症状をイラストでわかりやすく示し、疾患を具体的にイメージできる配慮がされています。そのため精神疾患をもつ患者さんに出会ったとき、リハ職がどう対応すべきか考えられる実践的な教科書と言えます。さらに国家試験対策問題も各章ごとに盛り込まれています。私



**羊土社**  
YODOSHA

株式会社羊土社  
PT・OTビジュアルテキスト専門基礎  
精神医学  
先崎 章/監、  
仙波浩幸、香山明美/編

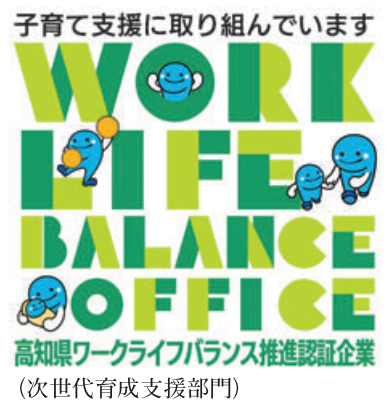
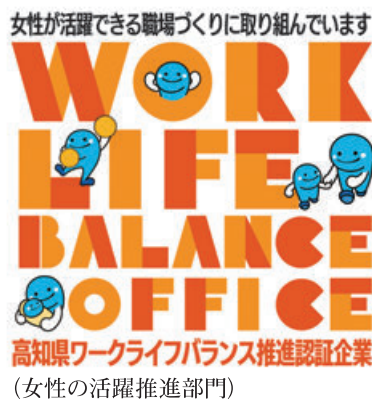
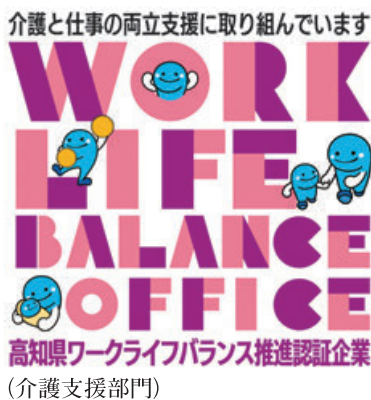
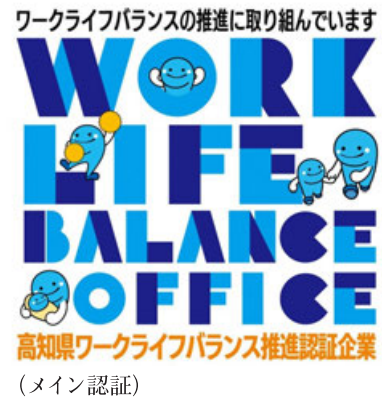
2022年10月03日発行  
B5判 248ページ



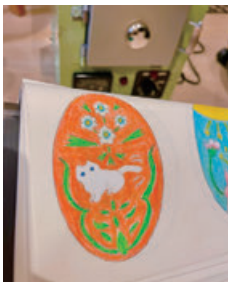
# 高知県ワークライフバランス認証企業の追加認証を受けました!

総務部長 鈴江 善弘

医療法人おくら会では、「子育て支援」や「仕事と介護の両立支援」の充実などに取り組んでいます。その成果として、男女が共に働きやすく、仕事と家庭の両立推進など職場環境づくりに積極的に取り組んでいる法人として、平成25年より「高知県ワークライフバランス認証企業(次世代育成支援部門)」の認証を受けています。この度、令和4年10月1日付で、「次世代育成支援部門」に加え、「女性の活躍推進部門」と「介護支援部門」の2部門でも評価され、認証を受けることとなりました。この制度は、企業の自主的な取り組みの推進とワークライフバランスの推進や労働者の福祉の増進を目的とし、全5部門で構成され、高知県では500社近くの企業が認証を受けておりますが、3部門の認証を受けている企業は20社未満となっています。これからも、職員の皆さんが働きやすい職場環境づくりに努めてまいりたいと思います。



学生の頃は服作りに熱中していて、洋服、たまに和服、依頼があればイベント衣装を作ることもありました。



私の癒しは好きなものに囲まれた趣味の時間です。趣味はものづくりで、ブローチやインテリア雑貨を作っています。作る前に絵を描いておおよその形を紙の上で決めておきます。材料は木や粘土やガラスなど、作りたいものによって色々な素材を使います。ほとんど自宅での趣味を満喫したくて、リビングの一角には自分用の作業スペースを構えて、そこで画材や工具などを広げます。作業をする時は好きな飲み物を準備して、好きな音楽や映画をつけて机に向かいます。部屋のインテリアには好きな作家さんの作品や、お気に入りのフォトフレームに写真を入れて飾ったり、好きなものに囲まれて作業に没頭している時間はとても癒されています。

自分の好きなことを人に共感してもらえらって幸せなことだなと思います。これからも趣味を楽しみながら、好きなものに触れる時間をずっと持ち続けていきたいなと思います。

最近だと子どもと一緒に七宝焼のワークショップに参加して、作品の透明感に感激。自宅でも小型電気炉で七宝焼にチャレンジしました。作った作品を話題に、家族や同じ趣味を持つ人と、次はどんなものを作ろうか考えるのがとても楽しいです。

最近だと子どもと一緒に七宝焼のワークショップに参加して、作品の透明感に感激。自宅でも小型電気炉で七宝焼にチャレンジしました。作った作品を話題に、家族や同じ趣味を持つ人と、次はどんなものを作ろうか考えるのがとても楽しいです。

私の癒しは好きなものに囲まれた趣味の時間です。趣味はものづくりで、ブローチやインテリア雑貨を作っています。作る前に絵を描いておおよその形を紙の上で決めておきます。材料は木や粘土やガラスなど、作りたいものによって色々な素材を使います。ほとんど自宅での趣味を満喫したくて、リビングの一角には自分用の作業スペースを構えて、そこで画材や工具などを広げます。作業をする時は好きな飲み物を準備して、好きな音楽や映画をつけて机に向かいます。部屋のインテリアには好きな作家さんの作品や、お気に入りのフォトフレームに写真を入れて飾ったり、好きなものに囲まれて作業に没頭している時間はとても癒されています。



## 「私の癒し」 リレーエッセイ No.72

医事課 川竹亜弥





# やわらぎ通信

リゾートビルやわらぎ  
運営理念

その人らしさを尊重し  
人と人とのつながりを大切に  
明日につながるケアをめざす

## やわらぎ開設二十五周年 〜四年目を迎えるコロナ禍とともに〜

施設長 中本 雅彦

新年あけましておめでとうございます。  
まだまだ厳しいコロナ禍ではありますが、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆様におかれましては新しい年を穏やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、面会や行事活動の自粛等々多くのご理解と様々なご協力を賜り厚く御礼申し上げます。また、この1月19日にはリゾートビルやわらぎ開設二十五周年を迎えますことを心より感謝申し上げます。これもひとえにご利用者・ご家族の皆様をはじめ、地域住民並びに関係機関の皆様の大なるご支援・ご協力をいただいたことによるものと、重ねて御礼申し上げます。

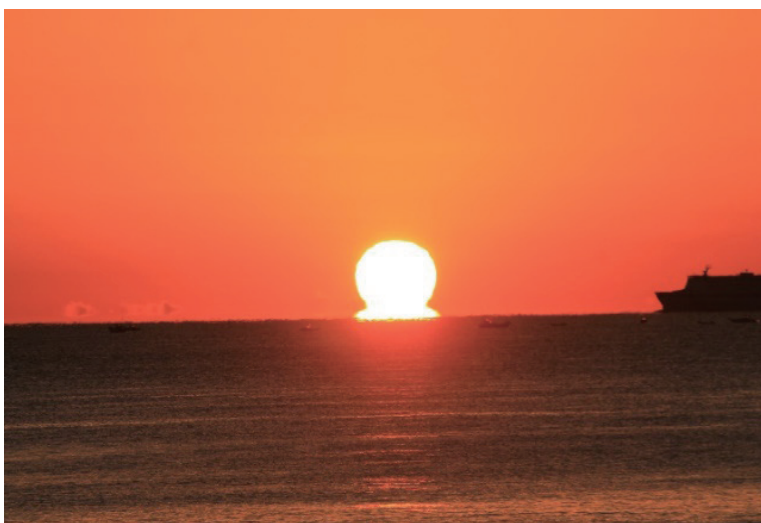
新型コロナウイルスの複数回接種が進み、感染拡大が徐々に縮小することを願っておりますが、新年を迎えましても第8派の真只中の状況となっております。4年にわたり猛威をふるい続け、当施設におきましても昨年末ごろから感染を認め、クラスター発生により一部サービス提供等にも支障をきたし、皆様には多大なるご心配ご迷惑をおかけしております。世界的にも先行きが見通せない状況ではありますが、やわらぎの運営理念にあります「人と人とのつながり」を大切に、コロナ禍でもできるご利用者・皆様との「つながり」を模索しながら、職員一丸となつての感染対策に取り組んで参ります。

標題にもありますとおり、やわらぎは開設二十五周年を迎えました。アイカブ25年前を紐解くと、平成10年（一九九八年）冬季長野オリンピック、野球界セントラル・リーグでは横浜ベイスターズが優勝、パシフィック・リーグは西武ライオンズ、高校野球では横浜高校が春夏連覇し松坂投手が

決勝戦でノーヒットノーラン、アントニオ猪木引退試合、黒澤明監督没、明石海峡大橋開通、映画「タイタニック」ヒット、ウィンドウズ98発売、キリン淡麗ヒット、流行語「キれる、ハマの大魔神、だっちゅーの」、ヒット曲GLAY「誘惑」・S.M.A.P「夜空ノムコウ」、内閣総理大臣は橋本氏・小淵氏、厚生労働大臣は小泉氏・宮下氏、介護保険法施行規則公布、高知県人口81.2万人等が確認できます。私個人としましては31歳にして体重は九十二キロ（今もキープ）、支援相談員として昼夜利用相談から各種の相談業務にて地域を走り回り忙しさを楽しんでたように記憶しています。思い出は美化されます。（笑）

環境とニーズは時代と共に変わるわけですが、近年は加速度的な変化が見られます。人口動態では少子化の先にある労働人口減少が顕著となりました。やわらぎもここ数年は働く人材確保に苦慮しております。限りあるケアスタッフ（今後也容易には増加しない労働者）にて、いかにして多様なニーズに的確にお応えしていくのか？厳しさに直面しています。それに対応すべく医療介護福祉業界におきましても、他業種にて発展している

ロボット化・ICT化が推奨され、当施設におきましてもこの数年職員間コミュニケーションツールのインカム、各種のノーリフトケアツール、多様なベッド・車いす等々を整備し、次には見守りロボット、各種のケア記録等の電子化に向け準備を進めております。加速度的に変化する環境・ニーズに対して、大規模多機能老健施設の強みを十分発揮し、皆様に納得満足していただけのケアをめざし、今年も精進して参ります。本年もよろしく願い申し上げます。





# 筆を下ろせば滞り無し

大黒 仙雲



今年の夏は特別に暑く、コロナ禍もあり大変ですが、皆さんお変わりなくお過ごしですか。この度私の書道作品(屏風)を当施設へ差し上げることにになりました。所感をと書くことですので私事を少し書かせていただきます。

先このころ私は腰の上の骨を圧迫骨折しまして芸西病院へ入院しました。リハビリを受けて3ヶ月後すっかり快復しました。退院後は一人暮らしですので困難もあり、やわらぎでお世話になったらいいのではないかと娘が手続きをしてくれました。週に3回通所しています。リハビリ担当の方が私が書道をしていることを知ってくれていて「師範さん」と呼んでくれます。ある日「師範さんの作品を飾らしてほしい」と言ってくれました。そこで考えてみますと以前龍跳展に出品してあった四曲屏風のことを思い出しました。大き



すぎて無用の長物になっていたのです。ここは広いので丁度いいのではないかと思いついて貰ってもらうことになりました。物置きから出して送迎バスで運んでもらいました。翌日玄関の広場へ広げてくれました。多くの人が見てくれましたが「読めんけどえいねえ」と言うのが一般の評価でした。書いている意味と説明をしました。「下し筆無し滞り筆を下せば滞り無しと読みます。筆を握って書き出すと迷いなくすらすらと書けると言うことです。漢文であり草書体ですのなかなか読めないのではありません。見て美しいと思えばそれで結構です。

さて私の経歴も必要と思います。戦後教職に就いて間もない頃「龍跳」という書道誌を同僚に見せてもらいました。そこに書かれている主幹の

竹村子雀先生の字の素晴らしいことに敬意の念を抱きました。一生「書」をやってもいいと思いました。早速先生の家を訪ねて書くのを見せてもらいました。手で書くのではなく体で書いていました。暫く先生の宅へ通い基礎を学びました。32歳で帰郷に認定してもらい、ずっと書の道を歩みました。学校では書道クラブを作り、児童に指導しました。新年書き初め会に参加させました。龍跳書道会主催の催しです。私は龍跳書道展はもとより県展に出品しました。室戸市展・安芸市展に出品して早くから特選に3回なって無鑑査になりました。子雀先生が亡くなられた頃から芸術の会社から誘われまして海外展に出品しました。フランス、トルコ、中国、アメリカ、イギリス、ドイツなどですがほとんど展覧会に入賞しました。フランスのルーブル美術館へ展示してくれたこともありました。

## お米の贈呈式

今年芸西小学校5年生の子どもたちから新米をいただきました  
ありがとうございました



## 令和4年度楽々介護教室



第2回「排泄ケアについて知ろう」  
知って得する排せつの話！



第1回「認知症ケアのポイント」



### 防災訓練を行いました

やわらぎ事務長 小谷 潤

令和4年10月20日、今年度2回目の防災訓練を行いました。大雨の中震度7の地震が発生し、その後1階休憩室より火災が発生するといった想定です。

午後二時館内に地震の音が放送されて、職員は身を守るため机の下に避難しヘルメットを着用、利用者さんに防災頭巾をかぶせ、落下物などで負傷しないよう安全確保を行いました。続いて火災報知器が鳴り響き、火元の確認、消防署への通報、初期消火、避難誘導を行いました。避難誘導では、職員が協力し合い、迅速な避難ができていました。また、水消火器を用いての消火訓練では、新入職員を中心に消火器の正しい使用方法を学びました。

今回の訓練での課題などを洗い出し、実際に災害が発生した時を想定して、防災計画を見直し、繰り返し訓練を行いご利用者や職員の安全確保に取り組んでいきたいと思います。

最後になりましたが今回の防災訓練にはご利用者、芸西村職員をはじめ外部の方々にもご参加ご協力いただきありがとうございました。



### しめ縄クラブ

釣りクラブメンバー  
寒い時期のためクラブ活動できずしめ縄クラブとして活動しました。



## クラブ活動

### 食欲の秋



### 硬筆



### 生花



### 釣り



### 芸術



### 園芸





# 「第33回全国介護老人保健施設大会 兵庫」に参加して

音楽療法士 繁谷 美穂

令和4年9月22日と9月23日に「第33回全国介護老人保健施設大会兵庫」に中本施設長とともに参加してきました。大会テーマとしては、「新たな時代をいきぬくために」と、今、老健ができること」と、「コロナ禍によってどう社会が変わっていくのか、その変わった社会ではどのような対応が老健に求められているかを考えていく内容となりました。そして、3年ぶりの全国大会開催で、会場内は随所での検温や手指消毒が設けられており、感染対策が徹底されました。

1日目は精力的に他の演題発表を聴講させていただきました。やはりどの老健もコロナ禍で悩み、工夫をしてきたことが見える発表が多かったです。クラスタ発生から収束への取り組みを発表した施設、ご家族と面会できないために広報にリハビリの様子を写真付きで掲載している施設、手紙を書く集団リハビリを行ってご家族とのやりとりを行っている施設など、全国の老健より様々な職種の方が発表されていました。そして、多くの施設が「コロナ禍においても、その人らしさを引き出して、ご家族との繋がりを大切にして寄り添っていくように努めている」と話されていました。これは、やわらぎの基本的理念である『その人らしさを尊重し、人と人とのつながりを大切に明日につながるケアをめざす』ということと共通しており、私自身も深く頷いて聴講しておりました。

そして2日目はいよいよ私自身の演題発表！幼い頃から様々な舞台を経験してきて、「緊張しているように全然見えない」と言われるくらいの強心臓！であったはずなのですが…実は1日目より手がぶるぶる震えるくらいの緊張していました(笑)。演題としては、「コロナ禍における音楽療法の実践報告」という内容を発表させていただきました。緊張の渦に飲み込まれそうではありましたが、抄録や演題資料の作成の段階より、法人内の様々な方にアドバイスをいただいていたので、緊張しながらも自信を持って無事に発表を終えることができました。



自身の発表を通じて、更に深くご利用者に向き合う機会にもなり、演題発表という心地よい緊張感に包まれる経験や他施設の発表で刺激も受けて大変有意義な出張になりました。この大会で得たものを日々業務に活かしていきたいと思えます。

**ゆず、いただきました！  
ゆず湯、じてみました！**

11月・12月いただいたゆずで、ゆず湯をさせていただきました。浴室に入ると立ち込めるゆずの香りに、「おっ。ゆず湯かえ、えいねー」「風流やねー」と皆さんとても良い表情になりました。

浴槽に浸かりながらゆずを手に取り、匂いを嗅いだり、少し揉んでみたりとゆず湯を満喫させていただきました。「温もれたー」「良かった」と言ってくださり少しの温泉気分を味わって喜んでいただけたかと思えます。



## 身体拘束廃止全体研修会の開催

デイケア師長 野村 裕子

平成30年度介護報酬改定から、介護職員その他の従業員に対し身体的拘束等の適正化のための研修を定期的に実施することで適正化強化が求められています。毎年全職員が参加し研鑽を積んでいます。今回は「ミニドラマで考える介護職員のための不適切ケア防止」というDVDを使用して小人数でのグループワークを取り入れて研修を行いました。ミニドラマでは身近に経験する場面を題材にして「利用者の尊厳を軽視した接遇」「利用者のプライバシーへの配慮に欠けた行動」を取り上げました。ご利用者の気持ちを考え尊厳に配慮した接遇をすること、慣れなれしい態度で利用者を軽んじてしまうことが介護サービスの質の低下を招きそれが虐待につながることを忘れないこと、ご利用者が他人に知られたくないと思うことに安易に踏み込むことが心理的虐待につながる可能性もあること等学びの多い研修会となりました。この学びを日々の業務に活かしていきたいと思えます。





# 祝100号 ~100号までの振り返り~

1号



H11年3月発行  
両面1枚で手作り感…

10号



H11年12月25日発行  
6ページに増量。  
まだまだ白黒…

20号



H15年3月1日発行  
イラスト手描き!?

30号



H19年5月10日発行  
ここから芸西病院だよりと  
一緒に発行。ついにカラーに!

35号



H20年5月9日発行  
祝10周年!! 記念イベントが  
行われました。

90号



R2年7月10日発行  
総師長が代わりました。

85号



H31年4月10日発行  
平成最後のやわらぎ通信…

80号



H30年1月10日発行  
祝20周年!! この時  
芸西病院は40周年!

59号



H25年2月12日発行  
祝15周年!!

97号



R4年4月10日発行  
編集委員が代わりました。

99号



R4年10月10日発行  
100号目前!

## ついに100号完成!!

## 無我夢中

39



介護福祉士

田淵 勤

おくら会(当時はみずき会でした)に勤め始めて早20年の月日が経ちました、田淵と申します。さて、自分はバカが付く程の猫好きでして…というも、我が田淵家では自分が生まれてからずっと猫を飼っており、猫が傍に居る生活をしていました。自分は18歳で家を出ましたが、実家ではずっと猫が自分の帰りを待っていていました。最初の猫がチビ(メス)で、次の猫が玉三郎(オス)、次がテンテン(オス)、ペーちゃん(オス)、茶タロー(オス)と続きます…。最後の茶タローはなかなかの長生きでして、なんと24年も生きてくれました。未だに死んでしまった事が信じられないというか、まだ元気に走り回っている様な気がしてなりません。その茶タローが亡くなってから一週間程した頃に一匹の猫が迷ってきました…。まだ生まれて2ヶ月程の小さなメスの子猫でした。出会った瞬間に「運命だ」と思った自分は飼う事を決意し、借家に住んでいる自分は飼えない為、実家へ連れて行き毎日のように家族総出で会いに行く生活…あれから早1年が経ちました。名前はコムギと言います。ハチワレ猫で可愛い彼女は、会った瞬間には擦りついて甘えるのに、こっちが無駄に行くとは本気噛みしてくる超ツンデレ気質な猫です。そのコムギも愛情と言つ名の餌をたらふく食べ、1年で5キロを超える「大麦」に育ちました(笑)そして今年の10月にはなんと!また子猫が迷ってきました…。しかも茶タローと同じキジトラ猫です(生後2か月程のメスでした)。またまた運命を感じてしまった自分は飼う事を決意、実家に連れて行き「2匹は大変だからダメ」と言う両親の言葉を孫の「おねがい!」という言葉と数名の福沢諭吉様の力をお借りして封殺し、飼い始めるのでした(笑)名前は「ゆず」と言います。そんなこんなで田淵家の猫歴史に新たな猫が追加されました。もう語りつくせない程に猫の思い出はあるのですが、文字数制限もあるのでこの辺で…皆さんも猫を大切に!

